

中島先生と作る

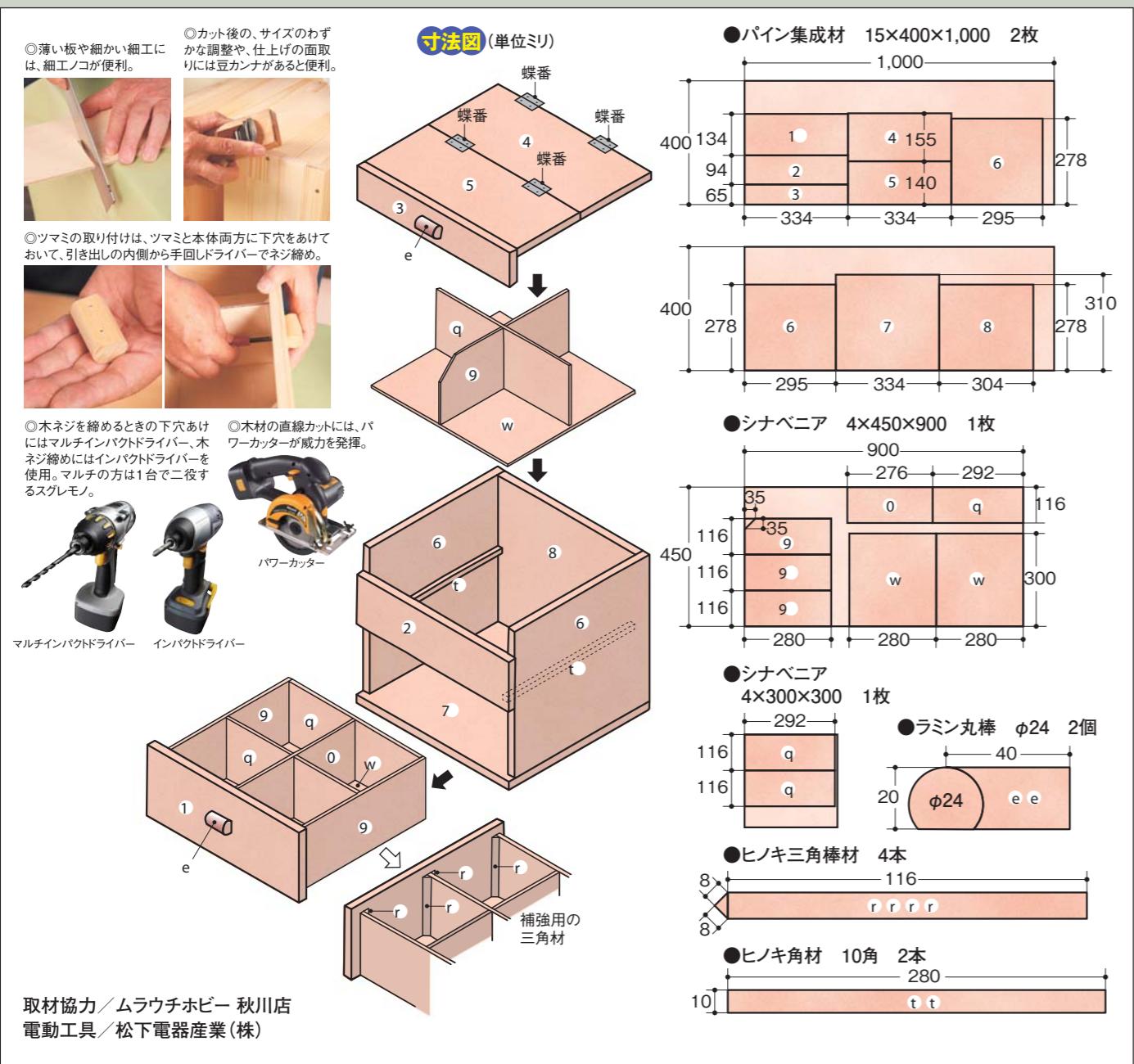
100枚収納 DVDストッカー

コンパクトなボックス型で
CDやDVDがきっちり大量に収納できる
こんなストッカーがあれば、
デスクまわりもスッキリ片付きそうですね。
制作指導は、日本日曜大工クラブの中島先生、
取材協力ホームセンターはムラウチホビー秋川店です。

指導



上ぶたは折りたたみ式に全開し、下段は引き出し式。
コンパクトなのに大量収納できるスグレモノ。

こだわりの
ポイント

今まで100個以上の箱物を作ってきたという中島先生のこだわりポイントは…



四角にこだわる

四角いものを入れる器を四角く作ること。どこまでも四角にこだわって、四角の美しさを表現することです。1ヵ所でも丸い部分を作るとデザインのバランスが崩れてしまいます。ところが、四角の角をきっちり作ることは意外に難しいのです。サイズを正確にとること、1ヵ所組み立てるごとにカネジャクなどで直角を確かめながら作ることなどに注意しながら作っていきましょう。四角いものを入れる器を四角く作ること。



木目の美しさを生かす

木材を使う場合、それぞれの材の個性である木目を生かすことにこだわります。1枚として同じ木目ではなく、それは人の指紋のようです。今回のような集成材の場合は、特に寄木のようなモザイク調のおもしろさがあり、木のパッチワークのような表面模様を楽しむことができます。白木なので、仕上げにクリアラッカーや塗装をしない場合は、木の角を豆カンナで軽く面取りし、全体にサンドペーパーをかけて完成。

◎薄い板や細かい細工には、細工ノコが便利。



◎ツマミの取り付けは、ツマミと本体両方に下穴をあけておいて、引き出しの内側から手回しドライバーでネジ締め。

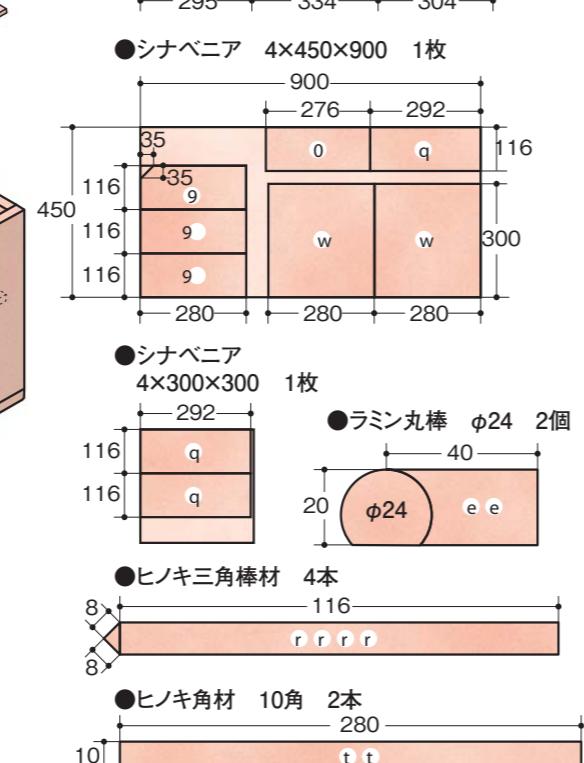
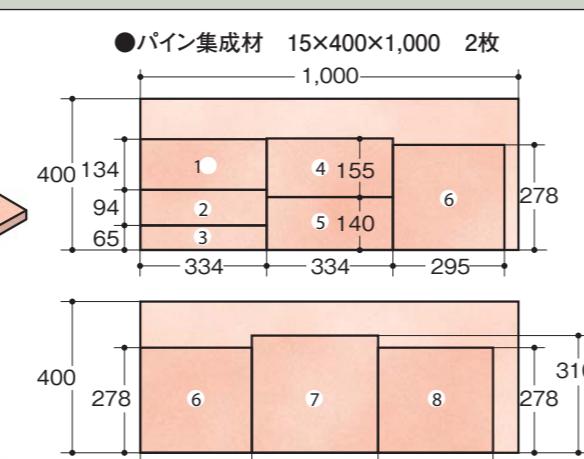
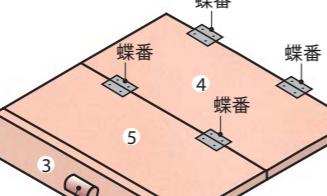


◎木ねじを締めるときの下穴あけにはマルチインパクトドライバー、木ねじ締めにはインパクトドライバーや、木工用ボンドを使用。マルチの方は1台で二役するスケレモノ。

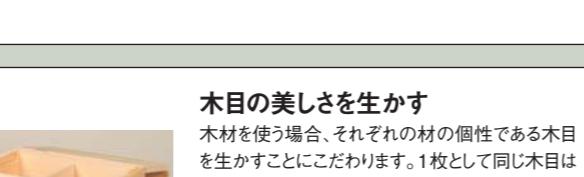
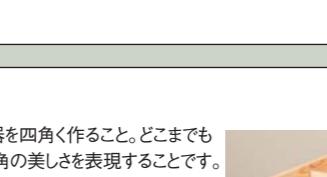
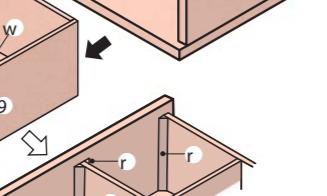
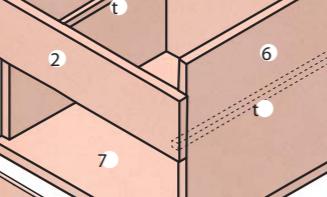
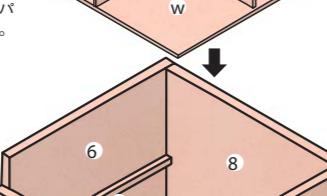
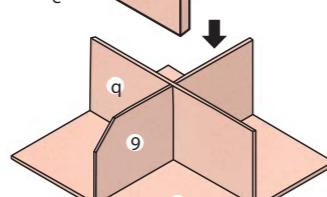


マルチインパクトドライバー インパクトドライバー

寸法図 (単位ミリ)



◎木材の直線カットには、パワーカッターが威力を發揮。



豆カンナ

木工用ボンド

カネジャク

ドライバービット

サンドペーパー

鉄鋼ヤスリ

細工ノコ

ドライバー

マルチ

インパクト

ドライバー



①電動工具(パワーカッター、マルチインパクトドライバー、インパクトドライバー) ②モノサシ ③木工用ボンド ④カナヅチ ⑤サンドペーパー(#180~#240) ⑥鉛筆 ⑦カネジャク ⑧ドライバービット(下穴あけ用、プラス) ⑨キリ ⑩豆カンナ ⑪木ジ ⑫鉄鋼ヤスリ ⑬細工ノコ



7 天板の後部と上部をつなぐ蝶番を付け、背板と天板も蝶番でつなぐ。



8 下段の引き出しを作る。底板のセンター位置に印を付け、十字の仕切り板を木工用ボンドで付ける。引き出しの角に補強用の三角材を接着する。ラミン丸棒でツマミを作り、裏面から木ねじで締めて取り付ける。



9 上段の中棚も、底板に十字の仕切り板を接着して、棚受けにのせる。最後に、木の角を豆カンナで軽く面取りし、全体にサンドペーパーをかけて完成。



①木材/パイン集成材・シナベニア・ヒノキ三角棒材・ラミン丸棒(φ24)・ヒノキ角材(10角) ②蝶番(30)×4 ③木ねじ(35)



4 ふたの前部分をL型に組み立てる。



5 前板の中央部を取り付ける。



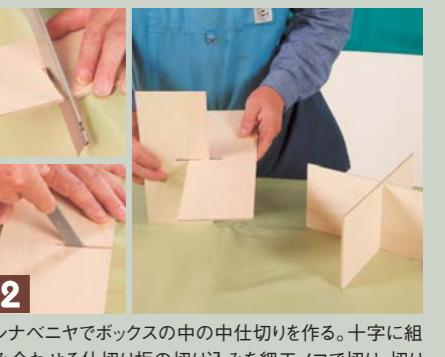
6 棚板受けの角材を木工用ボンドで接着する。

箱物がきっちり作れたら本格派。引き出しがスッキリはまつたらプロ、といわれるくらい箱物作りにはキャリアが必要です。今回は中島先生の指導、ムラウチホビー秋川店のベテランDIY担当下田さんのアドバイスで、引き出しが作られる箱物作りをご紹介。組み立てのネジ締めには、ドリルドライバーでもインパクトドライバーやパワフルなインパクトドライバーが活躍します。

DVDストッカー作りは、しっかりカッチリした



1 木材に図面どおりにスミ付けして、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)。カットした後の木口を、サンドペーパーで磨いておく。



2 シナベニアでボックスの中の中仕切りを作る。十字に組み合わせる仕切り板の切り込みを細工ノコで切り、切り口を鉄鋼ヤスリがけしておく。



3 底板、側板、背板をボックス型に組み立てる。マルチインパクトドライバーの下穴用ビットで下穴をあけてから、インパクトドライバーで木ねじを締める。